

# 令和4年度 狭山市立入間野中学校経営全体計画

## 0 はじめに

国→教育基本法 第1条—人格の完成、(教育の目的) 第2条—教育の目標  
教育振興基本計画「すべての子どもに、自立して社会でいきっていく基礎を育てる」(目指すべき教育の姿)  
県→生きる力と絆を育む埼玉教育プラン(第三期)  
市→「夢をかひえ 人をつくる 狭山の教育」 \*危機管理に強い学校づくり  
『生きる力を備え 未来へはばたく “さやまっ子”の育成』

1 学校観 学校とは、集団の中で子どもの生き抜く力を育み、夢を実現し得る力を身につけるため、計画的、組織的に教育活動をすすめるところである。

## 2 中学校とは

- (1) 知識と技能と体力を育むところ
- (2) さまざまな感動や葛藤を経験しながら心を育てるところ
- (3) 将来を見据えながら義務教育後の進路について学び、考え、選択するところ
- (4) 我慢をおぼえるところ(大人の対応を教える)

## 3 入間野中の強み

- (1) 継承していくもの→生徒の高い可能性、生徒や教職員の一体感、自主性、生徒会活動
- (2) 発展させたいこと→生徒の感性・品性・知性、自己解決能力、考える機会、清掃

## 4 校訓

高く(知) 明るく(徳) たくましく(体)

## 5 学校教育目標

「志高く、心豊かに、自らを鍛える生徒」

## 6 学校教育目標が目指す具体的な生徒像

### (1) 志高く

- ① 今の自分、将来の自分の在り方、生き方を考えられる—自己有用感、自己肯定感を高める
- ② 授業や他人の考えをよく聴き、自分の考えをはっきり言える—「聴く力」「発信力」
- ③ 物事を広く深く見ることができる—寛容さ、探求心

### (2) 心豊かに

- ① 相手の目を見て、聞いたり話したりする \*一方的に話さない
- ② 「はい」「すみません」「おかげさま」「私がします」「ありがとう」をはっきりと言える
- ③ 自他の尊厳を認め、命を大切にすること(いじめ、暴力をゆるさない、謙虚な心と態度)

### (3) 自らを鍛える(挑戦する)

- ① 毎日の「あたりまえ」をあたりまえにこなす—身なり、時間、清掃
- ② 50分間の学習に集中して取り組む—一意欲、我慢
- ③ 自分で決めたことを粘り強く最後まで全うする—達成感、成就感

7 目指す生徒像 「知性を高め、気づく感性を備え、気遣いのできる生徒」

一場を読む力、柔軟性、行動力

8 経営方針 「生徒の知性、感性、品性を磨く学校づくり」

- (1) 生徒一人一人の強みを引き出し伸ばします。
- (2) 大きな夢と誇りを育み、持続可能な社会の未来を拓く教育を推進します。
- (3) 謙虚な心と自他の命を大切にする教育を推進します。
- (4) 生徒、教職員、保護者、地域が愛し、誇りに思う学校を創ります。

<具体的指針>

- ① 本校の強みを継承しながらも、リスクを恐れず子どものために新たな教育活動を創造する
- ② 信頼と協働のもと、組織的に課題に臨み、全教職員でひとり一人を教育する体制を確立する
- ③ 子どもの心を揺さぶる教育環境（人、もの、仕掛け）づくりをすすめる
- ④ 小中一貫教育を踏まえ、保護者、地域の教育力の活用を推進する

9 特色ある教育活動

- ICT を積極的に活用した授業づくり
- SDGs の視点を導入した教育課程
- 補習の充実
- 積極的な生徒会活動（いじめゼロ宣言、ヘルスタイム、さまざまなキャンペーン活動）
- 教育相談の充実（チャンス相談、二者面談）
- 生徒の主体的な学校行事（体育祭、音楽祭、旅行的行事）
- 無言清掃
- パワーナップタイムの導入

10 指導の重点、努力目標

本年度特に力入れたい点

学習－「文脈を読み取る力、文脈から考え、行動する力の向上」

生活－「身近なことに目を向け、他人に惑わされず、自分の決断に自信を持つ行動」

(1) 確かな学力につながる学習活動の充実と基礎的・基本的事項の徹底

- ◎ 1 単位時間内で学習内容を理解し定着できる授業、わかることに自信のつく授業
- ◎ 「理解して深める」授業の創造(展開の工夫)、まとめの工夫
- ◎ 基礎・基本の定着のこまめな見届けをする

**策** 学力向上のための実践、指導法・教材の共有化（教材リソース）  
ICT（タブレットPC）の積極活用、オンライン授業の研究と推進  
教科内での授業研究(参観)、教科内の共通した学習活動  
小単元テスト等の積極実施、長期休業中の補習講座 パワーナップ

◎家庭学習の習慣化(自学、自習できる力の定着に向けて)

○毎日 30 分以上は、自宅で机に向かい学習することを継続させる。

**策** 15 分程度の宿題の提示、定期テスト前の学習計画の作成と指導  
長期休業中のしおりの作成、長期休業中の学習計画表の作成と指導

## (2) 豊かな心の醸成

- ◎感動、葛藤のある教育活動の創造
- ◎自他の尊厳を認め、謙虚な心と命を大切にする教育の推進
- ◎自助、共助、公助の心と態度を育む教育の実践

策 全校、学年一斉道徳授業の実施、道徳の指導法、資料の共有化  
学校ファームでの体験充実、体験学習の工夫、生徒会による  
いじめゼロの取組、防災に関する一斉の授業、「いのちの授業」

## (3) 基礎体力の向上と心身の健康の増進

- ◎体育の授業の充実
- ◎目的意識を持った部活動の充実—顧問が必ず部活動に出る
- ◎食育の推進、防衛体力の増進

策 基礎体力トレーニングの導入、大会前の激励会の企画、養護教諭等  
との協同授業、授業、保健室だよりによる病気、けが・感染症予防策の学習  
部活動の日の設定

## (4) ESD（持続可能な開発のための教育）

- ◎SDGs との関連を意識した教材研究と授業改善
- ◎ユネスコスクールへの参入に向けた研究

策 各教科の学習内容からの洗い出し、SDGs をテーマにした研修  
総合的な学習の時間での取組の研究（学年ごとに具体的なテーマを設定）

## (5) 積極的な生徒指導の推進(生徒指導環境の整備)

- ◎規律ある態度の育成
- 心を落ち着けて行動する、黙働の推進と徹底

策 無言清掃の徹底 集会会場への黙働入退場(担任の立ち位置)  
廊下の徒歩移動の徹底

- 時間を守る - 学校生活で時間を守る→ ①朝読書の開始 ②授業の始終業  
③清掃の始まり ④下校

策 教職員の3分前行動の実践（朝の職集の効率化、連続授業時の移動  
の工夫）、生徒会の啓発運動、専門委員会の呼びかけ、繰り返しの指導

- 身だしなみ、言語環境を整える

策 教員による登下校指導（定期テスト時）、毎朝の担任による指導、  
朝会時の指導、専門委員会による服装点検の実施、校長面接  
職員室来室時の指導の徹底、TPO を踏まえた言葉遣い(対生徒、対同僚)

- ◎無言清掃にしっかり取り組み、他人が嫌がる仕事に喜んで取り組む態度を養う

策 清掃強化週間、トイレ掃除の講習会(便器を磨ける生徒)

- ◎いじめ防止、不登校防止対策の推進

策 いじめ調査の定期実施、いじめゼロキャンペーンの実施(生徒会)  
いじめ防止個票の作成と活用(教育相談部)、相談室との連携、  
SC の積極活用、教育相談部会でのケース会議、「I's」を使った研修

(6) 社会総がかり(保護者、地域)の共育の実践

◎家庭との連携の推進

策 保護者会や三者面談を活用した信頼関係の構築、緊急時の親身で熱意のある面談と指導、迅速な対応、学校公開での教育活動の理解醸成  
あいさつ運動の定例化、学校だより・HPによる情報発信、保護者参加授業

◎地域の教育力の積極的な活用

策 学校運営協議会制度導入に向けた準備、学校応援団の活動機会の増設、  
学習支援ボランティアの増員、外部指導者による講演会  
学校だより・HPによる情報発信、

◎学校(生徒、先生)が地域に出向く活動の工夫

策 生徒会主催の奉仕活動(アダプトプログラム、地域清掃活動、福祉活動、  
学校だよりによる地域の行事の紹介

11 仕事に臨むにあたって

- (1) 3つの考え方(PUC) Positive thinking (前向きに) \*危→機 ピンチをチャンスに  
Understandingly thinking(相手を理解して 受容)  
Critical thinking (見直しながら)

(2) 子どもや教師にとってのチャンスに気付く感性を磨く

(3) 思いを行動に(思ったらまず動いてみる)

(4) 先手必勝—後回しにすると解決が難しくなることが多い

(5) チームで取り組む—それぞれの役割と得意分野を生かす。苦手分野は助けてもらう。

(6) 危機管理—「石橋をたたいてわたる」—教員の危機予知力を磨く

「行動・危機管理さしすせそ」

㊦・・・最悪の事態・状況を想定して ㊧・・・慎重に、あわてずに

㊨・・・素早く、迅速に ㊩・・・誠意をもって、共感して

㊪・・・組織的に、想定外を想定して

(7) 教職員事故を起こさない、起こさせない—交通事故、わいせつ、体罰、非違行為、SNS

(8) 首から上と急所(胸の強打、股間)の事故<怪我>は救急車をためらわずに要請する

(9) 報・連・相をこまめに、こまめな記録を!→順番、軽重を考えて!

(10) 効率的な仕事を工夫する—優先順位、健康第1

(11) リフレッシュの大切さ—元気に、上手に休みをとる

(12) 自分の家庭を大切に

☆保護者対応には十分な配慮を!(家庭訪問時、学校に来てもらう時、電話時)

- ・丁寧に誠実に対応することが、事が上手く進むことにつながる
- ・「保護者も仕事をしている、会う時間をつくっている、子どもの事が心配である」ということを忘れずに。
- ・木金の事件事故は、土日を含まない対応